

【第2号】

平成27年4月28日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所

企画調査課

☎ 0246-53-7126

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港を始めとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます。
<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港と貨物船

みなとは日本と海外などを結ぶ海の玄関口。[重要港湾]小名浜港には海外・国内から様々な貨物船が入港します。貨物船は、長距離を大量に安く輸送できる特徴があります。

タンカー船は（船倉のタンクで）、発電に使われる原油や重油などを運んでいます。貨物船の中では一番大きく、船の中はたくさんの部屋に仕切られ、積んでいる油が揺れないようになっています。

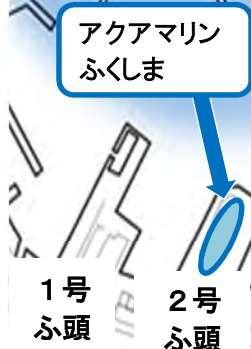


コンテナ船

建築材の材料となる製材などを運んでいます。貨物をコンテナに詰めたまま、トラックに積み替えて運ぶことができるので輸送のスピードアップを図ることができます。



タンカー船



アクアマリン
ふくしま

3号
ふ頭

4号
ふ頭

5・6号
ふ頭

7号
ふ頭

大剣
ふ頭

藤原
ふ頭

1号
ふ頭

2号
ふ頭

発電に使われる石炭などを運んでいます。貨物を箱や袋に入れず、そのまま積み込むことが可能です。3号ふ頭～大剣ふ頭に入港します。



一般ばら積み船

その他、石炭専用船、セメント専用船等、いろいろな種類の貨物船があり、平成26年は3,359隻入港しました。

取扱い貨物の紹介

- ★3号ふ頭 — 金属鉱など
(オーストラリアなどから輸入)
- ★4号ふ頭 — セメントなど
(高知県、青森県などから運搬)

- ★5号・6号・7号ふ頭 — 石炭など
(オーストラリア、インドネシアから輸入)
- ★藤原ふ頭 — 木材チップなど
(カナダなどから輸入)
- ★大剣ふ頭 — 製材(コンテナ)など
(スウェーデン、フィンランドなどから輸入)



私たちの仕事と応援の他県職員さん

今回は小浜漁港海岸の災害復旧現場です。
担当は神奈川県からの応援職員、樋口悟志さんです。



H27年3月で完成した砂浜側堤防です。震災前の堤防高から約3m高くなり、津波に強い堤防になりました。

波を海に戻す「波返し」。



H27年3月現在、工事中の漁港側堤防です。今は地盤改良まで終了し、砂浜側堤防と同じ高さの堤防となります。

改良材を混ぜて地盤を固く改良しました。



いわき市と協力しながら

いわき市が架け替える新たな渚橋は堤防と同じ高さになります。

その橋から漁港側と住宅側へつながる道路が整備されます。

当事務所では堤防・漁港の復旧を担当しておりますが、陸側の住宅地では市による区画整理も行われており、お互い調整しながら進めています。

ヒロキです

編集後記

今回は、小名浜港に入る船について学びました。

小名浜港で、もっとも多く取り扱われている貨物は、石炭です。次いで、重油、石油製品が多く取り扱われています。荷揚げされた石炭は、トラックや内航船で発電所に運ばれています。



神奈川県職員 樋口さん



Q 神奈川県ではどんなお仕事をしていましたか？

A かけ崩れや土石流の防災工事や、下水道の計画を担当していました。

Q 大変だったこと、復興を実感したことは？

A 担当している現場はどれも復興が本格化したことから、同時進行で複数の工事がペースを上げて進んでいるので、復興を実感しつつ工事間の調整に力を注いでいるところです。

Q 神奈川県のおすすめは？

A 一番知られている食べ物は焼売ですが、シラス丼やシロコロホルモン、高座豚や三崎マグロ、湘南ゴールドなどおすすめです。

※湘南ゴールド

3月下旬~4月上旬に出回る、新種の柑橘。上品な甘さと華やかな香りが魅力です。

